

平成25年度「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進」取組成果概要
【食・農林水産(農業)分野(職域プロジェクト)】「中核的林業生産専門技術者養成プログラムの開発事業」
(国立大学法人鹿児島大学)

課題・ニーズ・背景等

- ・国内森林資源の充実の一方で有効活用を担う人材が不足
- ・持続的な森林管理体制：
作業現場を総合的に管理する技術と経営的な能力を持つ現場責任者→「中核的林業生産専門技術者」の育成が必要

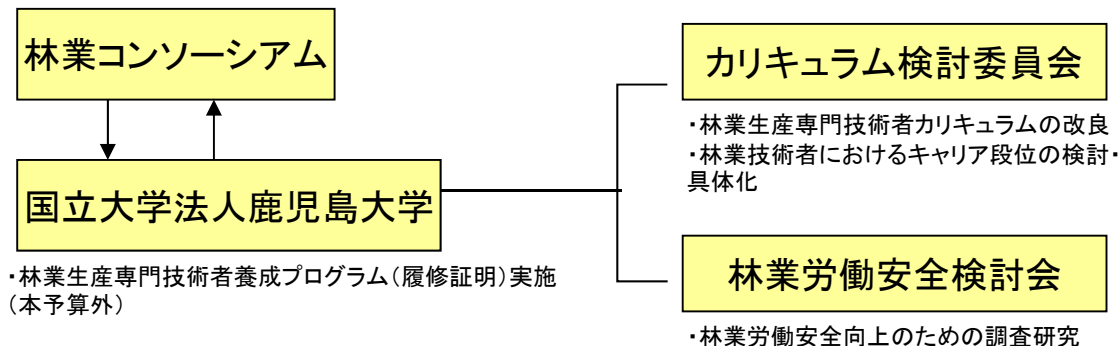
取組の概要

- ・関係団体・行政等との検討会を通じた、林業生産専門技術者養成プログラムのカリキュラムの改良，林業版キャリア段位の具体化(検討会2回開催)、国内事例調査
- ・海外先進事例から学ぶ，林業労働安全向上のための調査研究(海外調査+検討会2回開催)
- ・林業生産専門技術者養成プログラム(履修証明)実施(本予算外)
- ・成果報告書の作成，成果報告セミナーの開催

成果目標(アウトカム)

- 環境に配慮しながら高性能林業機械を駆使して木材生産を行う高度林業生産システムを実現できる林業生産専門技術者の養成。
- ・現在の林業界のニーズに合わせたカリキュラムの再編成および林業労働安全性向上のためのカリキュラムの開発を目指す。

体制イメージ図



参加・協力機関等

- 教育機関・研究
鹿児島大学, 森林総合研究所
- 産業団体・企業等
鹿児島県素材生産事業連絡協議会
鹿児島県森林組合連合会
林業・木材製造業労働災害防止協会
(株)WoodInfo
- 行政機関(オブザーバ)
九州森林管理局, 鹿児島県

平成25年度「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進」取組成果概要
【食・農林水産(農業)分野(職域プロジェクト)】「中核的林業生産専門技術者養成プログラムの開発事業」
(国立大学法人鹿児島大学)

取組内容

① 会議:

- ・カリキュラム検討委員会:開催回数:2回
- ・林業労働安全検討会:開催回数:2回

② 調査等:

- ・林業生産専門技術者養成プログラムの成果に関するニーズ調査
対象:修了者約120名および派遣企業等
手法:アンケート調査およびヒアリング調査(国内)
- ・新しい森林情報調査方法の検討
地上レーザー測量による森林調査手法
- ・ドイツ、オーストリアへの実地調査
ヨーロッパでの林業・安全教育を調査
海外(ドイツ・オーストリアを予定)林業専門大学、
林業者養成機関 2箇所を対象

③教材等作成:

林業生産専門技術者養成プログラムテキストを検討し、新しいテキスト(約150頁)に改訂

④実証等:

林業生産専門技術者養成プログラムの実施
6月下旬より10月上旬までの15日間で業生産専門技術者の養成プログラム(120時間)を実施(本事業の予算の対象外)

⑤今年度までの取組成果のとりまとめ等:

成果報告書の作成および成果報告セミナーの実施

成果(アウトプット)

- ・カリキュラム検討委員会において、現在ニーズに対応するカリキュラム段位の具体化と新しいカリキュラムの編成←プログラム修了生(120名)へアンケート調査およびヒアリング、および他大学の事例調査結果を活用
- ・林業労働安全性向上のために、労災を減らす教育方法をと林業教育カリキュラムをドイツ、オーストリアの先進事例から調査研究し、養成プログラムのカリキュラムに導入

成果の活用

- (1)実施校(鹿児島大学)の平成26年度履修証明プログラムに導入予定。(6教科120時間)
平成19年度から続けてきた林業生産専門技術者養成プログラムは、今後とも実施してゆく。本事業で改善される予定の新しいカリキュラムを適用して予定
- (2)関係業界の評価を踏まえた履修証明の効力向上
鹿児島大学の発行する林業生産専門技術者養成プログラムの履修証明は、日本森林技術協会の林業技士受講資格の1年短縮に利用可能である。また、九州森林管理局の国有林野事業入札での総合評価方式において、技術者資格欄への記載が認められている。今後、本履修証明の内容を関連業界へ広く周知し、効力の向上に向けた取組を行う。